

P r a y

f o r

J a p a n

パルシステム東京 東日本大震災復興支援活動報告書 2011



- ・主な復興支援活動（2011.3.11～2012.3.30）・・・・・・・・ p.1
- ・組合員参加の復興支援活動・・・・・・・・ p.3
- ・役職員による復興支援活動・・・・・・・・ p.4
- ・他団体と連携した復興支援活動・・・・・・・・ p.5
- ・【資料】物資支援カンパの贈呈先一覧・・・・・・・・ p.6

パルシステム東京は生協の原点である相互扶助のもと、被災者に寄り添い 被災地の復興に寄与します

震撼と驚愕の3.11から1年が過ぎました。ここに改めて、東日本大震災で被害にあわれた全ての皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

発災直後、パルシステム東京では直ちに震災対策本部を設置し、供給体制など事業の継続に注力すると同時に、被災地・被災者への支援活動に取り組んでまいりました。支援活動に対する組合員の皆様のご理解とご協力にお礼を申し上げますとともに、この1年間の活動についてご報告をさせていただきます。

私たちの支援活動では、組合員と役職員が力を合わせ、義援金や物資のカンパにとどまらず、被災地へ赴いての支援活動にも携わりました。特に、組合員ボランティアの被災地派遣はパルシステム東京では初めてのことで、組合員の皆様の被災者支援への熱い思いが形となって現れ、まさに協同組合ならではの強い絆の力を発揮することができました。しかしながら、被災地が震災以前の状態に戻るには、まだまだ多くの時間と支援が必要とされています。パルシステム東京では、2012年度も復興支援活動に取り組んでまいります。引き続き、組合員の皆さまのご協力をお願いいたします。



パルシステム東京専務理事 佐藤 功一

主な復興支援活動 (2011.3.11 ~ 2012.3.30)

- 2011.3.11 **東日本大震災発生 (14時46分)。**
緊急対策会議を開催、被害状況確認、配達の続行などを判断
- 3.14 専務理事のもと「震災対策会議」を設置し、事業の正常化、被災地支援活動を検討
- 3.15 日本生協連の「**救援・支援先遣隊**」として、岩手県、宮城県に職員1名、車両1台を派遣 ▶ p.4 ⑥
- 3.18 池尻センターでチャリティーバザーを、江東、港、江戸川、板橋センターでチャリティーセール(配送中に青果の引き売り)を実施。売り上げは全額支援カンパへ
- 3.19 足立センターでチャリティーバザーを開催。売り上げは全額支援カンパへ
- 3.22 NPO法人「国境なき子どもたち」へ紙おむつ等の物資を提供 ▶ p.5 ⑧
- 3.23 日本生協連の「**移動販売支援**」として、いわて生協に職員2名、車両1台を派遣 ▶ p.4 ⑥
日本生協連の「**店舗支援**」として、みやぎ生協に職員2名、車両1台を派遣 ▶ p.4 ⑥
エフエム東京の番組「Dream Heart」で先遣隊派遣職員が現地の様子などを報告(4/10放送)
- 3.25 パルシステムグループの「**あいコープみやぎ支援・視察先遣隊**」に職員1名を派遣 ▶ p.4 ⑥
- 3.28 「**東日本大震災被災地・被災者支援カンパ**」スタート ▶ p.3 ①
「**物資支援カンパ(タオル、石けん、カイロ)**」スタート ▶ p.3 ② / p.6【資料】
- 3.29 「**生協の家**」(新潟県阿賀野市)を原発事故避難者へ開放することを決定
支援活動に取り組むNPOや社会福祉協議会などへ「**物資支援カンパ**」で寄せられた物資の提供をスタート ▶ p.3 ② / p.6【資料】
- 3.31 パルシステムグループの「**あいコープみやぎ炊き出し支援**」に職員2名、車両1台を派遣。以降、5回の「**炊き出し支援**」に職員9名、車両3台を派遣 ▶ p.4 ⑥
- 4.1 「**災害支援免除制度**」スタート(震災及び原発事故避難者のパルシステム手数料他を無料に)
震災及び原発事故避難者へ、福祉サービスの提供をスタート
- 4.1 東京災害ボランティアネットワークへ支援活動用の車両を無償貸与 ▶ p.5 ⑨
- 4.6 日本生協連の「**共同購入再開支援**」として、みやぎ生協に職員2名、車両1台を派遣 ▶ p.4 ⑥
- 4.8 NPO法人「**難民を助ける会**」へお米などの物資を提供。以降、**支援活動に取り組むNPOなどの団体へ物資提供などで協力** ▶ p.5 ⑧
- 4.9 日本コープ共済連の「**COOP共済被災地支援**」として、あいコープみやぎ、みやぎ生協に職員1名を派遣 ▶ p.4 ⑥
- 4.15 「**第1回東日本大震災緊急報告・学習会**」を開催(第2回は4/23開催)
- 4.30 江戸川、江東センター共催の「**福島県双葉町避難者への物資支援カンパ**」に寄せられた物資を、**双葉町避難所(埼玉県加須市)**へ提供
八王子センター有志がチャリティーカップを開催(フットサル)。1ゴールにつき100円をカンパ金として支援カンパへ
- 5.14 **東京災害ボランティアネットワークの「被災地支援活動**」として、宮城県に職員1名を派遣。以降、6回の「**被災地支援活動**」に職員5名を派遣 ▶ p.5 ⑨



復興支援活動はホームページで随時報告
http://www.palsystem-tokyo.coop/

- 6.18 日本生協連の「**仮設住宅引越・物資運搬支援**」として、岩手県に職員1名を派遣 ▶ p.4 ⑥
- 7.3 パルシステムグループの「**パルシステム福島組合員拡大業務支援**」に職員4名を派遣(～7/9)。以降、3回の「**拡大業務支援**」に職員12名を派遣(最終7/30)
- 7.16 「**復興支援プロジェクト**」スタート。474名の役職員を①東京災害ボランティアネットワーク(最終10/30)、②ピースポート(最終12/2)、③コア産直産地旭市(最終2012/2/19)での支援活動に派遣 ▶ p.4 ⑦
- 8.25 理事会のもとに「**パルシステム東京復興支援特別委員会**」を設置
- 9.17 「**第1回パル・パラソルカフェ**」に組合員ボランティア9名、役職員6名を派遣。宮城県東松島市で組合員参加の傾聴ボランティア活動がスタート ▶ p.3 ③
- 9.19 「**つながり・ぬくもりプロジェクト応援カンパ**」スタート ▶ p.5 ⑩
- 9.29 被災したパルシステムの産地・取引先と地域再生に資することを目的として創設されたパルシステム連合会「**震災復興基金**」へ4,350万円を拠出(グループ総額3億円の基金)
- 9.30 城南信用金庫の「**東北地方太平洋沖地震復興支援ボランティア預金**」に10億円を預入れ。金利0.13%のうち0.1%(100万円)が義援金として福島県災害対策本部へ
- 10.8 「**第2回パル・パラソルカフェ**」に組合員ボランティア14名、役職員7名を派遣 ▶ p.3 ③
- 11.7 江戸川センターが近隣の区立松江小の避難訓練に協力、一時避難場所としてセンターを開放
- 11.19 「**第3回パル・パラソルカフェ**」に組合員ボランティア9名、役職員8名を派遣 ▶ p.3 ③
- 12.12 「**SAVE IWATE**」に協力し、池尻センターで「**復興ぞうきん**」を販売 ▶ p.5 ⑪
- 12.17 「**第4回パル・パラソルカフェ**」に組合員ボランティア5名、役職員10名を派遣 ▶ p.3 ③
- 12.29 パルシステムグループの「**対面販売・雪かき支援**」として会津若松市内の仮設住宅に職員1名を派遣。以降、11回の「**対面販売・雪かき支援**」に職員12名を派遣 ▶ p.4 ⑥



復興支援プロジェクト(石巻市)



(東松島市)

- 2012.1.12 NPO法人「**国境なき子どもたち**」に協力し、たつみ店から福島県の保育園へ給食用食材の提供をスタート ▶ p.5 ⑧
- 1.21 「**第5回パル・パラソルカフェ**」に組合員10名、役職員7名を派遣 ▶ p.3 ③
- 1.23 物資支援カンパ「**福島支援イベントのためにロウソクを集めています**」スタート ▶ p.3 ②
- 2.2 品川区で開催したイベント「**エリアで100万人・城南しおみ**」の会場で、会津若松市内の仮設住宅避難者が作成した「**布ぞうり**」を販売。売上金は全額被災者の収入に
- 2.3 全労済からの要請で「**全労済職員研修**」の講師として、職員1名を派遣し、パルシステム東京の復興支援活動を報告。以降、4回の研修に延べ3名の講師を派遣
- 2.6 大田、港センターで「**復興ぞうきん**」を販売 ▶ p.5 ⑪
- 2.10 「**つながり・ぬくもりプロジェクト**」「**東京災害ボランティアネットワーク**」へ組織カンパを実施 ▶ p.5 ⑩⑪
- 2.11 会津若松市内の仮設住宅で開催された「**ならば雪まつり**」に職員1名を派遣。組合員から寄せられたロウソクによるキャンドルナイトなどが行われた ▶ p.3 ②
- 2.18 「**第6回パル・パラソルカフェ**」に組合員ボランティア5名、役職員5名を派遣 ▶ p.3 ③
- 2.25 東京災害ボランティアネットワークの「**宮城県南三陸町被災者支援ボランティア**」に組合員ボランティア7名を派遣。以降、5回の「**支援ボランティア**」に28名を派遣 ▶ p.3 ④
- 3.10 「**第7回パル・パラソルカフェ**」に組合員ボランティア11名、役職員17名を派遣。仙石線「**東名駅**」前で開かれたイベント「**走れ!仙石線**」に参加 ▶ p.3 ③
- 3.11 福島県郡山市で開催された「**原発いらない! 3.11福島県民集会**」にパルシステム東京復興支援特別委員会メンバーの役職員11名を派遣
日比谷公園で開催されたイベント「**3.11東日本大震災 市民のつどい ピース・オン・アース**」にパルシステムグループとして参加。ステージの参加団体アピールにパルシステム東京吉森理事長が登壇し、『**震災と原発事故で失われた豊かな自然を取り戻し、未来へ伝えていきましょう**』と呼びかける
- 3.12 「**子どもたちを放射能から守る全国ネットワーク**」へ組織カンパ45万円を実施
- 3.24 「**つながろう福島 パルシステム福島親子交流企画**」を開催 ▶ p.3 ⑤

組合員参加の復興支援活動

① 被災地・被災者支援カンパ

- ▶2011年3月28日(月)～5月6日(金)
- ▶延べ25万933名の組合員が参加(パルシステムグループ全体)うちパルシステム東京延べ8万7,738名
- ▶4億29万5,100円(パルシステムグループ全体)うちパルシステム東京1億5,359万1,406円

カンパ金は5～6月に被災した県が設置した義援金配分委員会へ贈呈しました。

③ パル・パラソルカフェ

宮城県東松島市の仮設住宅で「人が集い、つながりをつくる交流の場」として、カフェの開設(軽食、飲料の提供など)と傾聴活動を行いました。パルシステム東京では、組合員(公募ボランティア)と役職員が一体となって被災地で支援活動を行なう初の取り組みとなりました。

カフェは仮設住宅の敷地や集会所で開催、組合員ボランティアも交えた住民同士の交流が活発に行なわれました。第7回のみ、津波被害で一部不通となっているJR仙石線の復旧を願うイベントの会場で開催。野蒜駅からイベント会場の東名駅(ともに津波で破壊)まで仙石線の早期復旧を求める行進にも参加しました。



回	開催日	組合員	役職員	開催場所(宮城県東松島市)
第1回	2011年9月17日(土)	9名	6名	根古地区仮設住宅
第2回	10月8日(土)	14名	7名	①根古地区仮設住宅 ②小野地区風の子公園仮設住宅
第3回	11月19日(土)	9名	8名	①根古地区仮設住宅 ②鷹来の森運動公園仮設住宅
第4回	12月17日(土)	5名	10名	鷹来の森運動公園仮設住宅
第5回	2012年1月21日(土)	10名	7名	①ひびき工業団地仮設住宅 ②小野地区風の子公園仮設住宅
第6回	2月18日(土)	5名	5名	鷹来の森運動公園仮設住宅
第7回	3月10日(土)	11名	17名	「みんなの夢をのせて走れ仙石線」会場(東名駅前)
		63名	60名	

④ 宮城県南三陸町被災者支援ボランティア活動

▶宮城県登米市、南三陸町の仮設住宅

東京災害ボランティアネットワークの支援プログラムに参加しました。組合員による支援活動では初の宿泊をともなう活動で、「ふれあい喫茶」(軽食、飲料の提供や傾聴ボランティア)の運営に携わりました。



期	活動期間	組合員
第1期	2012年2月25日(土)～2月29日(水)	7名
第2期	2月29日(水)～3月3日(土)	6名
第3期	3月3日(土)～3月7日(水)	4名
第4期	3月7日(水)～3月10日(土)	6名
第5期	3月10日(土)～3月14日(水)	6名
第6期	3月14日(水)～3月17日(土)	6名
		35名

⑤ つながろう福島パルシステム福島親子交流会

- ▶2012年3月24日(土)～3月26日(月)
- ▶パルシステム福島の組合員親子16組43名

放射能による不安な日々から少しでも離れ、東京で休養していただくための企画を開催しました。交流会にはパルシステム東京組合員親子も参加しました。

- ・24日: 浅草で昼食、上野動物園見学
- ・25日: パルシステムのパン工場とドライセットセンター見学、お台場(フジテレビなど)観光
- ・26日: パルシステム東京新宿本部で交流会



② 物資支援カンパ

1. タオル、石けん、カイロ物資支援カンパ

- ▶2011年3月28日(月)～4月1日(金)
- ▶タオル2,383箱、カイロ764箱、石けん1,196箱
- ※1箱目安: タオル80枚(バスタオルの場合20枚)、カイロ200個、石けん500個

被災地で支援活動に取り組むNPOや社会福祉法人などを通じて被災地・被災者へお届けしました(関連p.6【資料】)。

2. 福島支援イベントのためにロウソクを集めています

- ▶2012年1月23日(月)～1月27日(金)
- ▶ロウソク約5万本

2012年2月11日(土)、会津若松市内の仮設住宅で開催された「ならば雪まつり」でのキャンドルナイトで使用されました。

役職員による復興支援活動

⑥ 生協の連帯による支援活動

1. 全国の生協とともに
みやぎ生協、いわて生協への支援を中心に、支援活動に取り組みました。
2. パルシステムグループとともに
パルシステムグループの友好生協「あいコープみやぎ」での炊き出し支援や、会津若松市内の仮設住宅での支援活動に取り組みました。



支援期間	支援先	支援内容	職員	車両	連携先
2011年3月15日(火)～3月19日(土)	東北被災地	救援・支援先遣隊	1名	1台	
3月23日(水)～3月26日(土)	みやぎ生協	店舗支援	2名	1台	日本生協連
3月23日(水)～3月26日(土)	いわて生協	移動販売支援	2名	1台	
3月25日(金)～3月26日(土)	あいコープみやぎ	支援・視察先遣隊	1名		パルシステム連合会
3月31日(木)～4月2日(土)	あいコープみやぎ	炊き出し支援	2名	1台	
4月6日(水)～4月9日(土)	みやぎ生協	共同購入再開支援	2名	1台	日本生協連
4月9日(土)～4月14日(木)	あいコープみやぎ、みやぎ生協	共済支援	1名		日本コープ共済生協連
4月26日(火)～4月29日(金)			2名	1台	
5月3日(火)～5月6日(金)			1名		
5月10日(火)～5月13日(金)	あいコープみやぎ	炊き出し支援	2名	1台	パルシステム連合会
5月25日(水)～5月28日(土)			2名	1台	
5月30日(月)～6月2日(木)			1名		
6月18日(土)～6月23日(木)	岩手県内	仮設住宅引越・物資運搬支援	1名		日本生協連
2011年12月29日(木)					
2012年1月5日(木)、1月11日(水)					
1月12日(木)、1月18日(水)					
1月19日(木)、2月1日(水)	福島県会津若松市内仮設住宅	対面販売・雪かき支援	各日1名		パルシステム連合会
2月8日(水)、2月9日(木)			(2/8のみ2名)		
2月16日(木)、3月1日(木)			計13名		
3月21日(水)					
			33名	8台	

⑦ 復興支援プロジェクト

役職員による被災地支援ボランティア活動。3つの支援先、日帰りから最大4泊5日のプログラムに474名が参加しました。

東京災害ボランティアネットワーク

- ▶2011年7月16日(土)～10月30日(日)の期間に、3泊コース10回、24名/4泊コース11回、23名
- ▶宮城県登米市、南三陸町の仮設住宅、南三陸町災害ボランティアセンター

仮設住宅で、「ふれあい喫茶(p.3④参照)」や、被災地で集められた写真を洗浄、展示し、持ち主へお返りする「想い出探し隊」などの活動に参加しました。



ピースボート

- ▶2011年7月18日(月)～12月2日(金)の期間に、1泊コース15回、115名/2泊コース14回、70名
- ▶石巻市

行政や自衛隊、社会福祉協議会と連携し、現地のニーズにきめ細かく対応した生活支援・炊き出し・清掃活動に参加しました。9月23日からはパルシステムへおでんなどの練物を供給している「高橋徳治商店」の第二工場清掃作業や加工機械の洗浄作業に携わりました。



千葉県旭市(株うなかみの大地)

- ▶2011年9月3日(土)～2012年2月19日(日)の期間に、日帰りコース5回、37名/1泊コース6回、205名
- ▶千葉県旭市

津波被害や風評被害で苦勞している産地での「田んぼの草取り」「畑での肥料撒き」「収穫・出荷作業」などの農作業支援に参加しました。



他団体と連携した 復興支援活動

⑧ 物資提供

▶2011年3月22日(火)～2012年3月31日(土)

パルシステム東京の商品調達力を活かし、被災地で炊き出しなどの支援活動に取り組んでいる団体へ食品を中心に物資を提供しました。

団体名	物資内容	用途
国境なき子どもたち	子ども・大人用オムツ 8,035枚 お米 100kg、生鮮品、調味料など	主に茨城県北茨城市、岩手県陸前高田市で配布 福島県南相馬市のよつば保育園の給食用食材(2012年度継続中)
難民を助ける会	お米 2,954kg、レトルト食品 22,116個、 カップめん 10,080個、調味料 8種 5,011個	宮城県仙台市での炊き出し、個人へ配布など
あいコープみやぎ みやぎ生協	お米 617kg お菓子 880袋	宮城県石巻市での炊き出しなど 組合員のお子さんへ配付
パレスチナ子どものキャンペーン	お米 208kg、おやつソーセージ 125袋、 キャンディチーズ 160袋、クロワッサン 34箱	岩手県大槌町の炊き出しなど
愛の架け橋プロジェクト	お米 77kg	宮城県仙台市での炊き出しなど
SAVE IWATE	お米 2,561kg	岩手県内での炊き出し、仮設住宅への配布
セカンドハーベストジャパン	お米 500kg	宮城県南三陸町の仮設住宅などへの配布
ピースボート	お米 30kg	受け入れボランティアの食事用
仮設支援クラブ	お米 1,897kg	宮城県南三陸町などの仮設住宅への配布
ちくちくサポーターズ	お米 250kg	岩手県大船渡町などの仮設住宅や被災された民家の方へ配布
みやぎジョネット	お米 1,197kg	宮城県内の被災地で行なっているサロン参加者に配布
福島仮設支援(CGP)	お米 125kg	福島県内の仮設住宅の方へ配布

⑨ 東京災害ボランティアネットワーク

パルシステム東京が参加している阪神・淡路大震災を契機に1998年1月に設立された東京での大震災に備える民間のネットワーク組織。様々な災害支援で連携しています。

1. 車両提供

▶4月1日(金)～

宮城県登米市で支援活動に使用する車両を無償で貸与しています(2012年度継続中)。

2. ボランティア派遣(支援内容はp.4⑦参照)

支援期間	支援内容	職員
2011年5月14日(土)～5月18日(水)	ふれあい喫茶、 思い出写真隊	1名
5月18日(水)～6月22日(日)		1名
6月4日(土)～6月8日(水)		1名
6月8日(水)～6月12日(日)		1名
6月11日(土)～6月15日(水)		1名
6月15日(水)～6月19日(日)		1名
6月18日(土)～6月21日(火)		1名

3. 組織カンパ

▶2012年2月10日(金)

▶100万円

宮城県登米市での活動を財政支援するために贈呈しました。

⑩ つながり・ぬくもりプロジェクト

太陽光パネルなどの自然エネルギー設備を被災地の仮設住宅や福祉施設などに設置し、地域の活動や復興の足がかりを作っていく「つながり・ぬくもりプロジェクト」に協力しました。

1. 応援カンパ

▶2011年9月19日(月)～11月18日(金)

▶延べ2,934名の組合員が参加

▶268万7,950円

2. 組織カンパ

▶2012年2月10日(金)

▶268万7,950円

マッチングギフト*として、組合員カンパと同額を贈呈しました。

*企業などが社会貢献を目的としてカンパを募る際、寄せられた金額に対して企業側が一定の比率の額を上乗せし、寄付金額を増額した上で寄付する上乗せ贈与制度



⑪ 復興ぞうきん

▶岩手県盛岡市周辺へ避難した被災者が、全国から無償提供されたタオルと裁縫道具で製作する手縫いの雑巾

▶供給価格 325円(うち、200円が製作者の収入。125円は金属探知機による検品費用と送料の実費)

「復興ぞうきん」の活動のサポート団体『SAVE IWATE(セーブイワテ)』と連携し、一部センター限定で販売しました。

供給センター	供給期間	供給実績
池尻センター	2011年12月12日(月)～12月16日(金)	482枚
大田センター	2012年2月6日(月)～2月10日(金)	827枚
港センター		1,428枚
		2,737枚



【資料】物資支援カンパの贈呈先一覧(2012年度3月末時点)

提供先	最終お届け先	タオル	石けん	カイロ
難民を助ける会	宮城県仙台市の被災地へ		6,000個	9,970個
あいコープみやぎ生協	あいコープみやぎの組合員と周辺の被災者へ	4,880枚		
チャイルド・ファンド・ジャパン	「ピースボート」経由で宮城県石巻市の被災者へ	6,077枚	2,074個	3,817個
三鷹市社会福祉協議会	「茨城県青年会議所」経由で県内被災者へ	19,175枚	14,990個	28,184個
東村山市社会福祉協議会	「J-WAVE 災害プロジェクト」経由で宮城県仙台市等へ		3,000個	10,280個
仙台災害ボランティア	宮城県仙台市内の避難施設へ	426枚	545個	1,225個
喜多方市社会福祉協議会	福島県喜多方市の避難施設へ	425枚	545個	1,225個
ICA文化事業協会	福島県新地市・相馬市/宮城県岩沼市へ	13,394枚	5,800個	6,000個
東京災害ボランティア	宮城県登米市周辺の被災者へ	100枚		
「つなプロ」マッチング班	宮城県仙台市内の被災者へ	160枚	400個	1,000個
杉並福祉協議会	宮城県亶理郡亶理町の被災者へ	40枚		
セカンドハーベスト	宮城県仙台周辺の被災者へ	23,784枚	29,745個	
東京インターナショナルスクール	「セカンドハーベスト」経由で東北の被災地へ	2,128枚		
新宿区社会福祉協議会	新宿区戸山ハイイツ(避難者)	620枚	450個	
スマイルカフェプロジェクト	岩手県一関市	200枚	350個	
	宮城県石巻市	1,505枚	1,905個	9,980個
RORDプロジェクト(レスキューカード)	宮城県気仙沼足湯	2,158枚		
FORMあしがら	福島県南相馬市/宮城県名取市(泥だし支援)	400枚		
JIM-NET	宮城県石巻足湯	1,300枚		
エスク	自衛隊支援の入らない公民館&民家(宮城)	610枚	400個	3,000個
名取市市民活動市民センター	宮城県名取市被災者	1,090枚		465個
美容業生活衛生同業組合	宮城県宮城市青葉区の震災で美容道具を失った組合員、従業員	2,742枚	2,212個	
千葉県四街道市役所社会福祉課	福島からの避難者(原発)	100枚	200個	
豊島区社会福祉協議会	避難者	120枚	200個	
ふんばろう東日本	福島県南相馬市避難所	23枚		
	岩手県遠野市(遠野まごころネット)		1,000個	
	福島県郡山市(ビッグバレット福島)		540個	
全漁連	福島県漁連	4,000枚		30,295個
	岩手県漁連	20,000枚		27,254個
	宮城県漁連			14,608個
亶理町災害ボランティアセンター	宮城県亶理郡亶理町被災者へ	1,100枚	500個	
岩沼市災害ボランティアセンター	宮城県岩沼市被災者へ	1,000枚	1,000個	
JEN	宮城県石巻市仮設住宅へ(一部返品)	13,355枚	3,805個	
山元町社会福祉協議会	宮城県亶理郡山元町体育文化センター	6,000枚	6,000個	6,000個
NPO さぼーとセンターびあ	福島県南相馬市	650枚	530個	
農家レストラン さん食亭	岩手県北上市	574枚		
「ハンドメイドで被災地支援」NW	宮城県塩竈市	1,450枚		
東京都水産卸売業者協会	被災者	6,000枚	3,887個	
みやぎジョネット	宮城県仙台市	16,802枚	10,278個	
あぜ道会	宮城県大崎市	19,413枚	9,827個	
アロマスクール	宮城県仙台市	70枚		
元気をおくるアロマ実行委員会	被災者	100枚		
HANDS	岩手県陸前高田市			300個
ピースボート	宮城県石巻市	300枚		
ちくちくサポーターズ	宮城県石巻市・宮古市/福島県いわき市			1,500個
横浜支援隊ぽかぽか	石巻仮設住宅			2,000個
つなぐ心プロジェクト	被災者		2,970個	
江東ボランティアセンター	被災者		1,500個	
遠野まごころネット	岩手県遠野市		500個	
岩手県宮古市 魚菜市場			530個	
仙台市泉区			500個	
岩手県石巻市鶴住居町			100個	
宮城県角田町			1,000個	
宮城県東松島市			750個	
岩手県大船渡市役所、大船渡市三陸町花菱避難所へ	860枚			
岩手県大船渡東高校第一体育館救援物資係へ			4,500個	
もりおか女性センター			520個	
宮城県本吉郡南三陸町被災地	460枚	200個	500個	
福島県南相馬市の被災者へ	760枚	300個		
岩手県大船渡市	20枚			
埼玉県騎西高校(福島県双葉町の避難者)	2,000枚	500個		
宮城県登米市:津山若者体育館	600枚			
宮城県仙台市七郷市民センター 避難所	40枚			
福島県南会津町+観光協会	700枚	300個	400個	
福島県下郷観光協会	1,100枚			
岩手県柴波町の被災者へ	400枚	150個	200個	
宮城県宮古市	200枚			
福島県いわき市(いわき湯本温泉)	200枚			
福島県いわき市	730枚	469個		
岩手県宮古市	245枚	175個		
宮城県気仙沼市唐桑町	1,000枚	1,000個		
宮城県仙台市泉区館	740枚	1,400個	2,000個	
岩手県宮古市熊野町	600枚	600個		
宮城県東松島市		200個		
	182,926枚	122,597個	161,953個	

パルシステム東京 東日本大震災復興支援活動報告書 2011

Pray for Japan



発行 : 生活協同組合パルシステム東京
発行日 : 2012年6月8日
発行部数 : 1,000部
住所 : 〒169-8526 新宿区大久保2-2-6 ラクアス東新宿7F
E-mail : palsystem-tokyo@pal.or.jp
印刷 : 東銀座印刷出版株式会社